

第22回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和5年9月29日(金) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室		
委員 (敬称略)	委員長	栗田 誠	(白鷗大学法学部教授)
	委員長代理	藤川 裕紀子	(藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士)
	委員	柳澤 聡	(平沼高明法律事務所 弁護士)
	委員	佐野 豪俊	(国家公務員共済組合連合会 常任監事)
	委員	奥村 穰	(国家公務員共済組合連合会 常任監事)
【審議案件】	令和4年度契約		
審議内容	5 件	(備考)	
最低価格落札方式	1 件	案件1	契約件名 : 九段合同庁舎1階、2階及び3階事務室の什器入替え・内装作業等 契約締結日 : 令和4年7月29日 担当部局 : 本部(経理部)
最低価格落札方式	1 件	案件2	契約件名 : 枚方公済病院 4号館他整備工事 基本・実施設計及び工事監理業務 契約締結日 : 令和4年11月10日 担当部局 : 本部(管財・営繕部)
最低価格落札方式	1 件	案件3	契約件名 : 医療用直線加速器リニアック装置のリース契約 契約締結日 : 令和4年5月19日 担当部局 : 横須賀共済病院(旧令病院部)
最低価格落札方式	1 件	案件4	契約件名 : 内視鏡手術支援ロボットシステム一式のリース契約 契約締結日 : 令和4年5月27日 担当部局 : 立川病院(病院部)
随意契約 (企画競争)	1 件	案件5	契約件名 : 音響・映像・照明等業務委託契約 契約締結日 : 令和4年4月1日 担当部局 : 東京共済会館(宿泊事業部)
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり		
理事長に対する意見の具申又は勧告の内容	なし		

【案件 1】 九段合同庁舎 1 階、2 階及び 3 階事務室の什器入替え・内装作業等	
意見・質問	回答等
<ul style="list-style-type: none"> 審議案件の調達物品リストでは、特定メーカーの物品が指定されているが、これらは、「レイアウト変更に伴う計画及びプロジェクトマネジメント等に係る業務」の委託業者が決定したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 調達物品リストの作成は、プロジェクトマネジメントの委託業者との契約に含まれているもの。委託業者から当会の要望等を踏まえた提案がなされ、その後も意見交換しながら委託業者が最終的な選定を行っている。なお、当会から特定メーカーの指定は行っていない。
<ul style="list-style-type: none"> 物品を調達する際、特定メーカーを選定するのではなく、同等品を調達することで、より安価な物品を調達するといった方法も考えられたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「同等品」を仕様とすることについて、本契約では、納期との関係もあり十分活用できなかったが、今後同類の案件では、「同等品」とする仕様も活用したい。
<ul style="list-style-type: none"> 入札資料を配付した 2 業者からは、入札に参加できなかった理由の一つとして納期までの履行期間が短かったことが挙げられている。もう少し余裕を持ったスケジュール設定が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 案件にもよるが余裕を持ったスケジュール設定に努めたい。
<ul style="list-style-type: none"> 当該案件（Phase2）と関連する同種案件（Phase1 及び 3）においても同一の業者が落札しているところ、Phase1 で落札した業者がその後の Phase2 及び 3 に係る入札においても有利であったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> Phase1 に係る入札において落札できなかった業者が Phase2 以降の入札に参加していることから、必ずしも Phase1 で落札した業者がその後の入札において有利になるとは考えていない。
<ul style="list-style-type: none"> Phase1 から 3 までを 1 つのパッケージにし、1 回の入札で業者を選定することはできなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体スケジュールで説明したとおり、年金相談に係るコールセンターの移設を優先して手続きを進めてきたもの。さらに、年度予算の確保と執行にも配慮して実現できたもの。なお、Phase3 は、工程的に事務室内装作業とは別物としてお考えいただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> Phase1 で応札した業者に対し、Phase2 以降の入札を行うことが分かる全体計画があらかじめ公表されることはあったのか。競争性、公平性及び透明性が確保された調達を行うためにも、当該プロジェクトマネジメント等に係る業務を業者に委託していたことから、手続上の問題はあってもあるのかもしれないが、ある程度示すといった方法も考えられたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画は公表していない。Phase2 以降の入札があることは概念的に伝えることはできたかもしれないが、規模感を含め Phase1 の時点で全体像を示すことは難しかったと考える。

【案件 2】

枚方公済病院 4 号館他整備工事 基本・実施設計及び工事監理業務

意見・質問	回答等
・ 4 号館建替え及び看護師宿舎建替えに係る基本構想の報告書はどこが作成したのか。また、入札の実施以前に外部の専門家による支援等は受けていないのか。	・ 管財・営繕部と病院で作成したものであり、入札前に外部の支援は受けていない。
・ 病院等を建設する際、設計、監理及び建設に係る業務をまとめて行うケースと、それぞれ分けて行うケースが考えられるが、案件ごとに異なるのか。また、ゼネコンに設計までは依頼しないのか。	・ ほとんどの場合、設計及び工事監理を施工とは別途に発注しており、基本的にはゼネコンに設計も一括で発注する方式は採用していない。
・ 例えば病院の病床数といった規模ごとに総事業費に対する設計や監理にかかる費用の割合等についてデータを持っているのか。	・ 規模ごとのデータをとりまとめたものはない。
・ 本件の入札は、最低価格入札者が調査基準価格を下回ったため低入札価格調査を実施して落札者を決定しているが、落札者の実績は十分であるという裏付けは取れたのか。また、落札者は連合会における工事实績はあるのか。	・ 低入札価格調査において提出させた資料やヒアリングの結果を踏まえて、実績は十分であると判断した。落札者は、当会における工事实績がある者である。
・ 契約書の第 54 条において、談合等不正行為があった場合の違約金条項があるが、現在は全ての契約で規定されているのか。	・ 工事契約においては数年前から規定している。なお、物品・役務に係る契約においては規定していない。

【案件 3、4】

医療用直線加速器リニアック装置のリース契約

内視鏡手術支援ロボットシステム一式のリース契約

意見・質問	回答等
<ul style="list-style-type: none">・ 案件4の機器（以下、「ダヴィンチ」という。）については、他機関の契約において、製造元の日本の合同会社が供給していた。そのような状況を把握しているか。	<ul style="list-style-type: none">・ ダヴィンチ本体のみを購入する場合は、製造元から直接購入することができることは承知している。しかし、本件のように本体と合わせて必要な機器一式を調達する場合は、それらを製造元で取り扱っていないため、製造元が指定する国内の卸業者を通じて購入することとなる。
<ul style="list-style-type: none">・ 以前は本体の取得と保守契約は分けて行う必要があると言われていた。最近では、本体取得時に保守契約の条件を織り込みつつ、保守契約の2年目以降は、保守の頻度によって保守料を変更するといったような考え方もあるようなので、リサーチしてより経済的な調達に資することが大切であると考えている。	<ul style="list-style-type: none">・ 今後の参考にさせていただく。
<ul style="list-style-type: none">・ 他組織においては、リース契約が増えることにより資金的に購入の余地がなくなることを懸念して、リースと購入との比率を考慮するようになってきているが、そのような検討はしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none">・ 当会は購入を原則としてきていることから、今のところ賃借料が大幅に増加しているといった状況は見受けられていない。しかし、近年は財務上の考慮から、高額な機器等に関してはリースを採用する傾向にあるため、必要に応じて検討することとしたい。
<ul style="list-style-type: none">・ 案件3の入札公告においては、リース契約である旨が明記されていないが、入札参加者はそれを把握しているのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 御指摘のとおり、リース契約である旨を明記する必要があるため、病院に共有したい。なお、説明資料配布の際には、リース契約で検討している旨を説明しているとのことであった。
<ul style="list-style-type: none">・ 国内でダヴィンチを取り扱っている業者は、それぞれ販売地域が決まっているのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 厳密に決められているものではないと思料される。病院によっては、複数の業者から見積りを徴取していたが、結果的に複数者が応札していないといった状況である。今後は、価格競争により経済的な契約となるよう指導していく必要があると考えている。

【案件 5】

音響・映像・照明等業務委託契約

意見・質問	回答等
<ul style="list-style-type: none">・ 公告期間を 10 日間と設定しているが、1 者だけの応募であり、多くの参加者を募るためには更に長い期間を設定する必要がある。人手不足の状況は継続と思われることから、計画的・効率的に契約事務等を行っていく方法を検討していただきたい。	<ul style="list-style-type: none">・ 御意見のとおり、人手不足により事務担当者のサービス部門への業務応援が常態化し、契約事務の遂行に余裕がなかった。今後は計画的・効率的な業務が行えるよう人員の補充等も検討していきたい。
<ul style="list-style-type: none">・ 当該企画競争の審査委員の評価表を確認すると、当該業務の担当職員とその他の職員との間で著しい点数の差が生じている。冷静な審査や手続をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none">・ 「企画競争実施の手引き」に基づいて委員を選定しているところであるが、当該部門の担当課長が欠員であったため、やむを得ず現場担当者を委員とした。今後は、評価方法の見直しや、採点基準の更なる明確化等について指導していきたい。

【審議全体を通じての意見等】

- ・ 他機関においては、随意契約とする場合、具体的にどの基準に該当するのかわかりとさせているが、連合会においては十分に整理がなされていないと考えられることから、連合会全体で検討いただきたい。
- ・ 連合会全体の調達業務が競争性、公平性及び透明性が確保されたものとして行われるよう、引き続き尽力していただきたい。